

社 会
(地理的分野)

社会の目標について

【教科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【学年・分野・領域等の目標など】

[地理的分野]

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

【参考】

○ 目標の改善

中学校社会科における目標については、小学校社会科との接続はもちろん、高等学校地理歴史科や公民科との接続も踏まえ、学校種の違いによる発達段階や分野の特質に応じて、柱書と三つの資質・能力からなる目標を設定した。その際、従前からの学習指導要領における目標の趣旨を引き継ぎつつ、社会の変化に伴い、中学校社会科学学習に求められる状況などを踏まえ、改善を図ることとした。

具体的には、小・中学校の一貫性の観点から、社会科が目指す究極のねらいに当たる文言については、小学校、中学校とも「グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎」という共通の文言にし、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」に関わる(1)から(3)までの目標においては、各分野の特質を表す規定となるよう整理した。

○ 標準授業時数 115単位時間

様式 2

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	2・東書	第1・2学年 地理的分野	地理・701	新しい社会 地理
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容、内容の構成・排列	<p>○ 地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域構成」において、世界各国の人口、面積、国境線などから地域構成を大観したり、信仰する宗教との関係などの国旗の由来から世界の国や地域について関心を高めたりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、6つの事例地域と東京の雨温図の違いに着目して人々の生活の様子を考察したり、異なる自然環境や宗教とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、アジア州におけるイスラム教徒の生活・文化やオセアニア州のツバルにおける環境問題などから州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、アフリカ州では、「アフリカが発展していく上での課題」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、高知県高知市について、自然環境・防災、人口、産業や土地利用の変化、交通の発達や他地域との結び付きなどから、適切な主題を設けて追究したり、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、地図を活用して、地震の震源や火山が連なる地域や地域によって異なる気候の分布や地域などをとらえたり、自然災害と防災・減災への取組について、地図や写真等から調べて日本の自然環境に関する特色等を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、日本を7つの地方に区分して、自然環境、人口、都市・村落、産業、交通・通信、生活・文化からそれぞれの地域的特色をとらえたり、「九州地方における自然環境の中での暮らし」という主題を設けて地域の課題を理解したりする活動 ・「地域の在り方」において、宮崎市における少子高齢化について、身近な地域の将来像を話し合ったり、他者を尊重し、協力する態度や地域社会の形成に参画する態度を身に付けたりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習については、「日本の位置」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、参加型学習である「みんなでチャレンジ」を設けたり、多様な意見に触れたりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、「世界各地の人々の生活と環境」において、写真や雨温図などの資料を読み取る学習の後に、「世界の諸地域」において、複数の資料の比較や関連付けを通じて、特色を捉える学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p>			
使用上の配慮等	<p>○ 「日本の諸地域」において、北海道における自然の特色を生かした産業を取り上げたり、現在に受け継がれるアイヌ民族の文化を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 各単元の導入部において、単元全体を貫く「探究課題」を設定する活動や、探究課題の解決を補助する問いを軸に構造化された課題解決的な学習活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 見開きで1単位時間の構成を示したり、全ての生徒が学習しやすいよう、教科書全体を通してユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

様式 2

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	17・教出	第1・2学年 地理的分野	地理・702	中学校 地理 地域にまなぶ
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容、内容の構成・排列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「地域構成」において、身近な飲み物の原料の生産状況などから地域構成を大観したり、伝統・文化の意義とその継承などから世界の国や地域について関心を高めたりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、6つの事例地域の自然・社会条件と暮らしとのかかわりに着目して人々の生活の様子を考察したり、世界の言語・民族・宗教と社会とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、アジア州における経済発展やヨーロッパ州における統合とその課題などから州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、南アメリカ州では、「なぜ自然破壊や都市の人口増加が進んだのだろうか」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、愛知県名古屋市について、川と地域、住宅の開発、農業や工業などから、適切な主題を設けて追究したり、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、地図を活用して、地形の特色や季節風の影響を受けた多様な気候の分布や地域などをとらえたり、地形、自然災害と防災、開発や環境保全について、地図や写真等から調べて日本の自然環境に関する特色等を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、日本を7つの地方に区分して、自然環境、人口、歴史、産業、交通・通信、伝統文化からそれぞれの地域的特色をとらえたり、「中国・四国地方における人口集中や人口減少」という主題を設けて地域の課題を理解したりする活動 ・「地域の在り方」において、多摩ニュータウンにおける高齢化問題について、地域に見られる課題を話し合ったり、課題解決に向けて考え、地域に見られる課題を解決していこうとする態度を身に付けたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習については、「防災教育」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、興味や関心を広げるコラム「地理の窓」を設けたり、個人やグループで学びを深めたりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「世界のさまざまな地域」において、世界各地の生活から興味・関心を高める学習の後に、「日本のさまざまな地域」において、自分なりに考えてテーマを設定し、仮説を立て、意見を交換する学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の諸地域」において、北海道における豊かな自然と観光を取り上げたり、持続可能な社会づくりの視点からアイヌ民族の文化を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 章や節などの末尾において、「学習のまとめと表現」のページを設け、主な地名や言葉を確認する活動や、設定されたテーマについて自分の言葉で説明する学習活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 1時間の授業を見開き2ページで構成したり、全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「まなびリンク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 			

様式 2

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	46・帝国	第1・2学年 地理的分野	地理・703	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容の構成・排列	<p>○ 地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域構成」において、世界各国の文化、人口、面積などから地域構成を大観したり、国境線や国名の由来、国旗のデザインに取り入れられた自然、歴史や宗教などから世界の国や地域について関心を高めたりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、気候帯の特徴に着目して人々の生活の様子を考察したり、「場所」や「人間と自然の相互依存関係」とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、アジア州における自然環境やヨーロッパ州における文化の共通性と多様性から州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、北アメリカ州では、「アメリカ合衆国の工業は、どのように変化しながら世界をリードしたのか」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、東京都練馬区について、自然環境、人口や都市・村落、産業、交通や通信、環境保全、生活・文化などから、適切な主題を設けて追究したり、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、地図を活用して、日本の主な山地・山脈や日本各地の気候の分布や地域などをとらえたり、自然災害に対する備えへの取組について、地図や写真等から調べて日本の自然環境に関する特色等を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、日本を7つの地方に区分して、自然環境、交通や通信、環境保全、産業、人口や都市・村落、生活・文化からそれぞれの地域的特色をとらえたり、「近畿地方における環境問題への取組」という主題を設けて地域の課題を理解したりする活動 ・「地域の在り方」において、京都市のバスの混雑について、自分の住む地域の在り方と世界と日本の学習との関連について話し合ったり、地域の課題の解決に向けて考え、主体的に社会の形成に参画する態度を身に付けたりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習については、「地域の在り方」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、社会的な課題の分析と、その解決に向けた構想に取り組む活動を設けたり、生徒自身が学習の振り返りを行ったりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、「世界のさまざまな地域」において、地域で見られる地球的課題の影響を考察する学習の後に、「日本のさまざまな地域」において、地域的特色を構成する各事象と地球的課題の相互関係を考察する学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p>			
使用上の配慮等	<p>○ 「日本の諸地域」において、雪と共にある北海道の人々の生活を取り上げたり、自然と共に生きるアイヌの人々の歴史や文化を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 章・節・各本文において、冒頭に設けた単元を貫く問いから学習の見通しをもつ活動や、末尾に言語活動を備えた学習の振り返りの活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 地域の特色が見える写真資料を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、資料は識別しやすい色とし、文字はユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コード（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

様式 2

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	116・日文	第1・2学年 地理的分野	地理・704	中学社会 地理的分野
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容の構成・排列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「地域構成」において、世界各国の人口、面積などから地域構成を大観したり、国境や人口・面積、国名・国旗の由来などから世界の国や地域について関心を高めたりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、人々の生活とその場所の地形や気候、社会の様子に着目して人々の生活の様子を考察したり、衣食住の特色や、言語・宗教とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、アジア州における人口や経済発展やアフリカ州における自立のための開発と国際協力などから州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、オセアニア州では、「多文化が共生する社会」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、京都市伏見区について、自然環境、人口や都市・村落、産業、交通・通信などから、適切な主題を設けて追究したり、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、地図を活用して、地形の特色や地域によって気温や降水量が異なる気候の分布や地域などをとらえたり、地形、自然災害と防災、開発や環境保全について、地図や写真等から調べて日本の自然環境に関する特色等を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、日本を7つの地方に区分して、自然環境、人口や都市・村落、歴史的背景、産業、交通・通信、持続可能な社会づくりからそれぞれの地域的特色をとらえたり、「中部地方における産業」という主題を設けて地域の課題を理解したりする活動 ・「地域の在り方」において、京都市の町づくりについて、地域の課題を話し合ったり、地域社会の形成に参画し、その発展に努力しようとする態度を身に付けたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習については、「世界の諸地域」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、節末で地球的課題を設けたり、「チャレンジ地理」等で地球的課題を解決したりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「世界の諸地域」において、人類全体で取り組まなければならない地球的課題について考察する学習の後に、「日本の諸地域」において、持続可能な社会を実現する上で取り組まなければならない地域の課題を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の諸地域」において、北海道地方の自然環境と人々のかかわりを取り上げたり、日本の先住民族であるアイヌ民族の歴史や民族共生象徴空間を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 単元の終末部において、具体的な課題を自ら調べたり、議論したりする活動や、学習を振り返って知識の定着を図る活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 1時間の授業を見開き2ページで構成したり、全ての生徒が学習しやすいよう、教科書全体を通してユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「デジタルマーク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 			

< 地理的分野の具体的な調査項目 >

◎調査研究の対象とした事項

- ① 大項目（「世界と日本の地域構成」「世界の様々な地域」「日本の様々な地域」）ごとのページ数及び総ページ数
- ② 北海道とかかわりのある内容（北海道に関する地理的事象）を取り上げているページ数及び箇所数
 - (1) 「日本の諸地域」における北海道地方のページ数
 - (2) アイヌの人たちの歴史・文化等を取り上げているページ数
 - (3) 北方領土に関する内容を取り上げているページ数
 - (4) 道内の市町村等を取り上げている箇所数
- ③ 自然災害及び防災に関する内容を取り上げているページ数

◎調査対象項目にした理由

- ① 学習指導要領に示されている地理的分野の内容を適切に指導することが求められていることから、大項目ごとや全体としての分量について把握する必要があるため。
- ② 生徒が興味・関心をもって学習することができるよう地域の実態などを生かした指導をすることが求められていることから、北海道にかかわる内容等について把握する必要があるため。
- ③ 自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解する教育の充実が求められていることから、自然災害及び防災に関する内容について把握する必要があるため。

様式 4

※調査項目が網掛けになっている項目は、様式 5 にデータを掲載していることを示す。

調査項目			発行者			
			東書	教出	帝国	日文
① 大項目ごとのページ数及び総ページ数	世界と日本の地域構成	ページ数	27	19	24	22
		全体に占める割合	9%	6%	8%	8%
	世界の様々な地域	ページ数	107	101	104	95
		全体に占める割合	36%	34%	35%	33%
	日本の様々な地域	ページ数	142	149	155	156
		全体に占める割合	48%	51%	52%	54%
	その他	ページ数	19	26	17	14
		全体に占める割合	7%	9%	5%	5%
	総ページ数		295	295	300	287
	前回の総ページ数		295	279	280	281
	増減		0%	6%	7%	2%
② 北海道とかかわりのある内容を取り上げているページ数及び箇所数	「日本の諸地域」における北海道地方のページ数	12	15	16	14	
	アイヌの人たちの歴史・文化等を取り上げているページ数	3	9	3	3	
	北方領土に関する内容を取り上げているページ数	10	9	6	6	
	道内の市町村等を取り上げている箇所数	86	83	50	66	
③	自然災害及び防災に関する内容を取り上げているページ数		47	55	44	66

※ 「総ページ数」については、教科書に記載されている最終ページ数とする。

様式 5

様式 4 の調査項目② [北海道とかかわりのある内容] の具体的な内容

学年	内容	単元及び教材名 (該当ページ)	取扱い方	タイトル・主な内容		
東 書 1 ・ 2 年	アイヌの人たちの歴史・文化等	北海道地方 (P259)	文章	先住民族であるアイヌの人々は、この土地の自然に根差した生活・文化を確立してきました。		
		北海道地方 (P268)	文章	アイヌ民族は、北海道やその周辺地域で、古くから生活していた先住民族です。		
			写真	アイヌ民族の伝統的な舞踊など		
			地図	アイヌ民族の言葉が由来になったとされる地名		
	3章の学習を確認しよう (P269)	表	もともとは、先住民族であるアイヌの人たちが住んでいた土地			
	北 方 領 土	世界と日本の姿 (P6)	地図	国土の広がりと周りの国々 (択捉島)		
		日本の位置 (P20)	地図	日本の北端 (択捉島)		
		日本の領域の特色 (P25)	写真	日本の北端 (択捉島)		
		北方領土・竹島と尖閣諸島 (P26)	地図	竹島、尖閣諸島、北方領土の位置		
		貴重な自然が残る北方領土 (P27)	文章	北海道東方の歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島は北方領土とよばれ、根室市などに属する日本固有の領土です。		
			地図	自然環境にめぐまれた択捉島など		
		日本の略地図のえがき方 (P30)	地図	日本の略地図例 (北方領土)		
		北海道地方 (P258)	文章	国後島の爺々岳や知床半島の羅臼岳、十勝岳、有珠山などは活火山で、活発に活動して大きな噴火を起こすこともあります。		
			地図	北海道地方の自然環境 (国後島など)		
		北海道地方 (P259)	地図	北海道地方の人口 (国後島など)		
		北海道地方 (P261)	文章	一方、ロシアとの間では、北方領土をめぐる領土問題が解決していないため、漁場や操業権をめぐる緊張関係も続いています。		
		北海道地方 (P266)	地図	北海道地方の地名を確認しよう (択捉島)		
		教 出 1 ・ 2 年	アイヌの人たちの歴史・文化等	さまざまな言語と人々の暮らし (P43)	文章	また、独自の文化や言語をもつ先住民族であるアイヌ民族も暮らしています。
				東北地方 (P251)	地図	アイヌ古式舞踊 (北海道)
北海道地方 (P258)				写真	松浦武四郎の像 江戸時代に、松浦はアイヌ民族とともに蝦夷地を探検し、「北海道」の地名を発案しました。	
	文章			知里幸恵「アイヌ神謡集」序文		
北海道地方 (P259)	写真			知里幸恵		
	地図			アイヌ語に由来する主な地名		
北海道地方 (P260)	文章			江戸時代まで北海道は蝦夷地とよばれ、古くから先住民族のアイヌ民族が生活していました。		
	文章			特に江戸時代以降になると、豊かな森林や漁業資源を求め、本州から進出した和人は渡島半島の一部にあった松前藩や和人地に定住するようになり、松前藩はアイヌ民族に対する支配を強めていきました。		
北海道地方 (P261)	文章	アイヌ民族の生活と近代化の歩み アイヌ文化の継承と新たな文化のかたち				
	写真	アイヌ語地名も併記されている看板				

			写真	北海道庁の赤れんが庁舎に外壁に、プロジェクトンマッピングによって浮かび上がるアイヌ文様		
			地図	「ベツ」「ナイ」（「川」の意味）がつく地名の分布		
		北海道地方（P271）	文章	「持続可能な社会」へ向けて（アイヌ民族の歴史と文化）		
			写真	ムックリ（口琴）を奏で、ウポポ（歌）を歌う		
			写真	アイヌ文化発信空間のオープンイベントの様子		
			写真	先住民族音楽祭でのアイヌ音楽の演奏		
			写真	民族共生象徴空間「ウポポイ」の完成予定図		
		北海道地方（P272）	語句	アイヌ民族		
北方領土	日本の国土の広がり（P22）		写真	択捉島		
			地図	国土の北端 北緯45度33分（択捉島）		
	日本の領域をめぐって（P24）		地図	北方領土とその周辺		
			文章	北海道の東に位置する歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島を北方領土とよびます。		
	日本の領域をめぐって（P25）		地図	南東を上にして、日本海周辺を描いた地図（北方領土）		
			文章	確認！北方領土に含まれる島の名前を書き出そう。		
	ヨーロッパ州（P79）		文章	その一方で、北方領土などをめぐる問題はいまだに解決されておらず、大きな課題となっています。		
	北海道地方（P259）		写真	墓地で手を合わせる元島民（択捉島紗那）		
	北海道地方（P260）		文章	北海道の東部には、阿寒湖の周辺から知床半島へと火山が列のように並び、国後島や択捉島まで続きます。		
	北海道地方（P261）		地図	北海道地方の地勢（国後島など）		
北海道地方（P270）		地図	「ベツ」「ナイ」（「川」の意味）がつく地名の分布			
		北海道地方（P272）	地図	北海道地図（択捉島を解答）		
帝国	1・2年	アイヌの人たちの歴史・文化等	北海道地方（P269）	地図	アットゥシ織	
			北海道地方（P276）	文章	一方で、この地に住むアイヌの人々にとっては、石狩川はさけなどをとるための漁場でもありました。	
			北海道地方（P284）	文章	2019年の国会では、古くから北海道に住んでいたアイヌの人々を「先住民族」と明記する新法案が成立しました。	
				写真	豊漁と漁の安全を祈るアイヌの伝統的な祭り	
				写真	アイヌの伝統的工芸品、アットゥシ織の着物とアットゥシを織る人	
				写真	アイヌ語地名と現在の地名を併記した標識	
					地図	アイヌ語に起源をもつ北海道の地名
			北方領土	日本の領域とその特色（P18）	写真	日本の北端（択捉島）
				日本の領域とその特色（P20）	写真	納沙布岬から見える北方領土の島々
					地図	北方領土周辺の国境の移り変わり
写真	日本国民と北方領土に住むロシア人との交流					

			文章	北海道の北東部にある歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島は、北方領土とよばれ、北海道根室市などに属する日本固有の領土です。			
			文章	日本は、サンフランシスコ平和条約において、樺太（サハリン）の一部や千島列島を放棄しましたが、北方領土の4島はその放棄地に含まれていないという立場をとっています。			
		日本の領域とその特色（P24）	地図	日本の略地図の例（北方領土）			
		章の学習を振り返ろう（P25）	文章	択捉島と沖の鳥島について、語群の中から二つ以上の語句を使って、それぞれの島を説明しよう。			
			地図	日本の排他的経済水域の範囲（択捉島）			
		北海道地方（P269）	地図	歯舞群島、国後島、色丹島、択捉島			
		北海道地方（P272）	文章	北海道の東部には、択捉島をはじめとする北方領土の島々があります。			
日 文	1 ・ 2 年	アイヌの人たちの歴史・文化等	北海道地方（P252）	文章	江戸時代までの北海道は蝦夷地とよばれ、渡島半島の南部を除く大部分がアイヌ民族の生活する土地でした。		
			北海道地方（P253）	文章	日本の先住民族であるアイヌ民族		
				写真	伝統工芸品の説明をするアイヌの女性		
				地図	アイヌ語に由来する主な地名		
			北海道地方（P261）	文章	アイヌ民族の生活する土地だった。		
			北 方 領 土	日本の位置をとらえよう（P12）	地図	北端（択捉島）	
					日本の領域の特色をとらえよう（P16）	地図	国土の北端（北緯45度33分）（択捉島）
						写真	国土の北端（択捉島）
					日本の領域をめぐる問題をとらえよう（P18）	地図	北方領土・竹島・尖閣諸島の位置
						地図	北方領土付近の国境の変化
						文章	北方領土は、歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島からなる日本固有の領土です。
					日本の領域をめぐる問題をとらえよう（P19）	写真	「ビザなし交流」で色丹島の一般家庭をおとずれ、ロシア人と交流する訪問団
						写真	羅臼町から見た国後島
						文章	日本は、この条約の内容などに基づいて、北方領土と竹島の領土問題を国際社会に訴え、平和的な解決をめざしています。
地形からみた日本の地域的特色と地域区分（P140）	地図	国後島、択捉島、色丹島、歯舞群島					
北海道地方の自然環境と人々のかわり（P250）	地図	国後島、択捉島、色丹島、歯舞群島					